

町民のみならず、あけてあげておめでとにごいいます

発行所 金木町 印刷所 東奥日報社

金木だよりは各世帯毎に一冊ずつ無料配布してあります。

年頭の辞

苦しい財政を克服

計画的に重点指向



金木町長 花田 一

合併第一の年、今や暫々と新金木町の基礎も...

町内の農協青年部

連絡協議会を組織

金木町管内の四農協青年部は十二月十日午後一時より町役場に於て...

- 振興の中核たるとする若い青年の力の結集...

野田ノ沢溜池完成

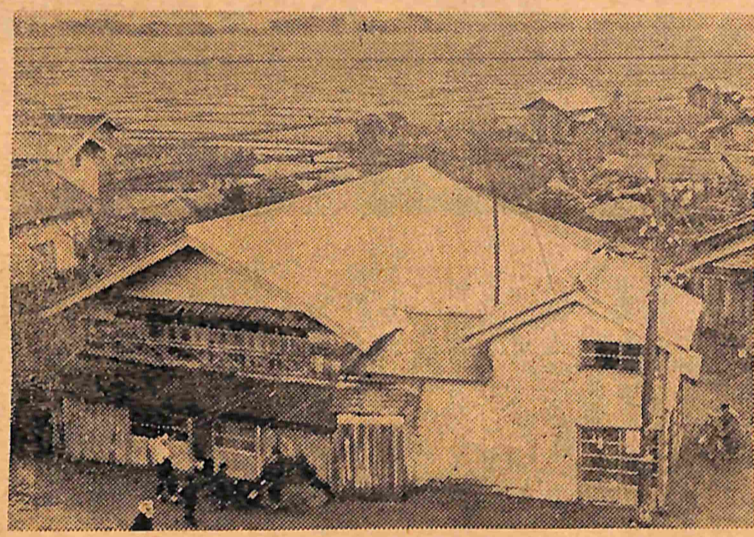
全額260万円関係者の負担

野田ノ沢の水田耕作者二十名が同部管内の野田ノ沢に溜池をつくることを...

靖国神社奉賛会 金木支部誕生

みなさんの御協力を望む

靖国神社は明治初年困難に陥じた人々を顕彰奉獻するために創立して...



町民は私の良き先生であるという事を思ふは...

井戸にかよった亡霊

喜良市の甚兵衛屋敷

昔懐かしの喜良市と喜良市とは深い因縁があるので補足して見たいと思う...

名勝 古跡めぐり

古井戸が築かれていたが、今は埋もれて宅地や畑となるなど其の形が失われている。

女坂の溜池(川倉)完成

苦勞の実が漸く結ぶ

川倉土地改良区(理事長長田市五郎氏)では、この溜池は昭和二十八年年度の工事費で...

沢部橋も竣工

立派なもの 風雨を伴った数回の台風で、車馬通行困難となり、災害復旧工事と...

- 本町 山田勝太郎 新崎一、寺岡町 角田 亮吉、浦野町 沢田繁太郎 小山 勝美、新嘉町 角田 又七 前多みさを、見崎町 角田 又七...

金木小学校の創立八十周年記念事業、金木小学校の創立八十周年記念事業...

サル 猿と去るを間違えるな

猿世界から苦言ちよつびり

△おれは世界で一番の働き者
△俺と祖先を同じくする猿の先輩
△猿から区別される人間の特徴

ら、働け、働け、そしてイノチが
すりきれぬほど働け。俺のした
決闘という投資が、やがてかえつ

△みんなに利用される私の貯蓄
お金は正常な金融機関であること
るの銀行、郵便局、信用金庫、相

貯蓄は幸福への道の鍵(二)

お金が必要であります。そのお金
を会社なり商売される方は、自
分のお金で賄うことができない

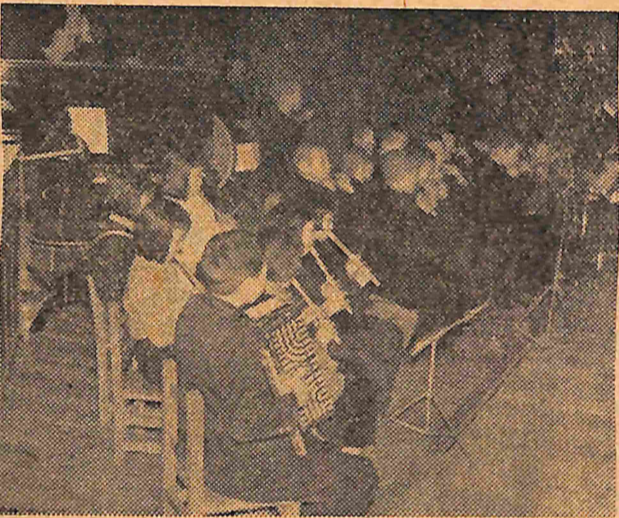
我が校の文化活動(二)

地域社会の協力で育つ

喜良市小学校の巻

△学校は地域社会の文化センター
原則的にいつ小学校には小学
校としての教育目的が学校教育

△自作スライドがとりもつ縁
△学校生活は校外生活
△校内生活を校外生活
△学校の公開は村内に反響を



かと思ひます。さらに山林を主
とする全校合奏が演奏される
段階に至った。器楽合奏によつ

「考える農家」の育成
△普及員の仕事を理
解してもらいたい
普及事業が始まってから

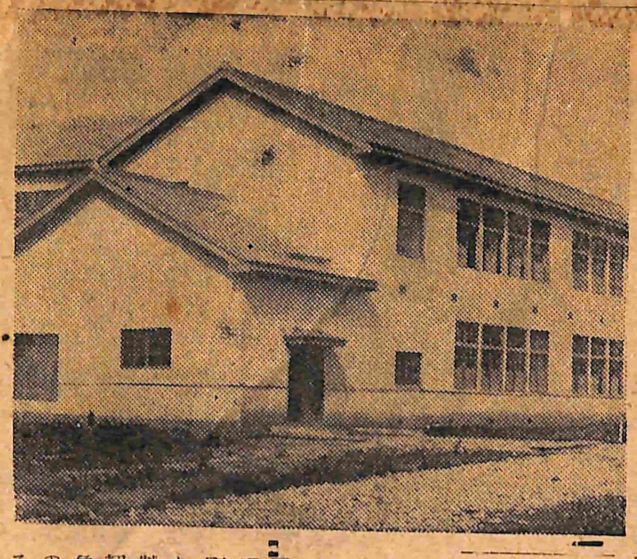
Table of names and titles for the New Year Greeting Committee, including members from various schools and organizations like 金木町外組合立高等学校校管理委員会.

町税滞納者に差押えの断

年度内完全徴収を目標に

町当局では昨年十一月十六日から一理のため、臨時職員を配置して差押え処分を強行、その成績は上々の第一強制執行期日とし、役場であるが、本年に入つてもその手内に徴収対策本部をおき、滞納整理はゆるめず、新年早々第二次の滞納整理を計画している。

三上対策部長「差押え処分は先ず第一に町長の近視眼と町議会議員を対象として整理すべきだ」との言があるが、現在までに町長の親類を含み数件差押えの処分をして参りました。幸い町の債権が理解して下さつて居るので、その成績は予想以上のものです。徴



六・三制のなやみ

金中の屋体木造に変更

屋内体操場がなく、教育上不便を感じてきた金木中学校のことで、町長は就任以来頭をなやましてきたのであるが、町の財政上六・三制での補助は微々たるもので、当初計画した鉄骨の屋体であれば町負担が約二千万円という膨大なもので、とうとう実現が不可能であるところから、このほど木造の屋

【写真】立派な校舎ではあるが、屋内体操場のない金木中学校。当初から災害復旧工事として申請すれば、金額超過で金木小学校と同様に完成をみていたはず……

成人式は十五日の予定

多数の参加を望む

例年金木町及び同教育委員会主催で挙行してきた「成人式」を、今年も来る一月十五日金木町保育所で行う予定で準備を進めているが、当局では該当者多数出席下さるようにと望んでいる。

町民の声

一人八百円以内、紙上とく名はかまいません。締切りは毎月その月末です。

豊作の夢は続かぬ
今から計画をたてよ
金木町農家の皆さん、最良今年の経営の目標とその設計が出来たことでしょうか。

五カ年の農業振興計画

予算約二億五千万円

土地改良に重点を

当町では積累法による農業振興五カ年計画を町当局及び金木町農業振興審議会が中心になつて作成したもので、去る十一月の下旬から各

部活毎に公聴会を開いたが、出席した各部活民は一応了承したが、実施にあたっては更に検討の上実施することになった。この計画によれば予算は約二億五千万円となつて居るが、この内訳本計画を公表するに当り町当局では、この計画の予算については誤解されるおそれがあるので次のことを補足してほしいと強調していた。『本計画による事業は積累法に基づいたものであり、したがって受益関係者の要望によつてなされたものである。二億五千万円の予算の内訳は』

①農業の特質
(一)農業の特色
本町の農業を総合的に見れば、一七〇町歩の耕地から水稲三七、一八八石、馬鈴薯及び蔬菜類一、二六〇、〇〇〇貫の生産をあげるほか木材、薪炭の林産物等を得て、(二)幹線農道及び排水路の不備

(イ)気象的制約
気象的制約は寒冷作地帯に共通の条件であるが、平年気温一・七度、農耕期間平均気温一七・五度C内外で、このため農耕期間が非常に短間で、従つて耕作利用率が低い。

(ロ)幹線農道及び排水路の不備
二、一七〇町歩を有する本町は水田、畑ともに幹線農道は不足及び不備である。また現存する農道は幅一・五米内外のものが多いが、資材及び農産物の搬出に多大の支障を与え、労力と時間の浪費を大ならしめている。

(ハ)春秋期の農作業の繁忙が農作を制約している。

(ニ)老朽化水田及び秋落水田の改良が徹底していない。

(ホ)畜産振興の奨励及び採草の合理化の不足。(以下次号)

理科教育に最重点を

飯塚貞雄

嘉瀬中学校長 飯塚貞雄

一、幻燈機及び附属品
二、写真機(自作スライド用)
三、学校図書の充実
四、理科教育に最も重点をおきた合併後を願ひて

一、社会教育振興をはかるため旧三刀町村に公民館の独立庁舎を設置して欲しい。

二、二年一回の季節保育所の設置を次の要領で強力に推進して欲しい。

一、一回一カ月位
二、専任の職員による指導
三、夏瀬支所庁舎の利用も一方法と願ひ。

徹底した土地改良を

吉崎忠直

嘉瀬地区農業委員 吉崎忠直

昭和三十年度は未曾有の大豊作で昭和八年の七十八万三千石に比べ約八百万石増収であるが、農林省の発表であったが、その原因は天候だけではなく品種の改良、農業機械の進歩などいろいろ考へられる。だがその一つに土地改良が大きく働いている事は否定できない。私は金木町の発展を考へるならば第一に町人口の約八割以上を占める農民の生活の安定なことを、他の生活向上も、町の発

今年のは非行いたいこと

町当局に望みたいこと

一、物の始まりは一から
昭和三十一年の一月は何か新鮮な希望が持たれる感じがする。身と心を静かに引きしめ新しい姿で郷土・国土とどつかと立つてその進路を見定めたい。そして清新で激刺とした目標を教師、子ども共に持つようになりたい。

二、児童に対して
①読書の指導—児童文庫の拡充読書の態度養成は子どもの時代から読み習わせることが必要である。それには子どもの手の届くところに読物を豊かに置いてやりたい。

②しつけ
(イ)朝の「お早う」よりの朗らかな挨拶からはじまる「礼儀」のしつけをつけてやりたい。

(ロ)協力する態度を養いたい。友だち同志は仲よく助け合う態度(ハ)物を大切にそして整備美化する習慣を養いたい。物の有難

児童の図書を豊富に

嘉瀬小学校長 伊藤久雄

嘉瀬小学校長 伊藤久雄

さ、有効な使い方、よい始末の仕方
三、魅力ある学校としたい運動具の充実、楽器の設備
四、教材用幻燈スライド作成

徹底した土地改良を

吉崎忠直

昭和三十年度は未曾有の大豊作で昭和八年の七十八万三千石に比べ約八百万石増収であるが、農林省の発表であったが、その原因は天候だけではなく品種の改良、農業機械の進歩などいろいろ考へられる。だがその一つに土地改良が大きく働いている事は否定できない。私は金木町の発展を考へるならば第一に町人口の約八割以上を占める農民の生活の安定なことを、他の生活向上も、町の発



いから一応町民は恵まれた環境に置かれて居るように見受けられるが、実際はこれに反している。今これを大別して平坦水田地帯と山間水田、畑作地帯とに考察すれば開かとなる。

(イ)平坦水田地帯はいわゆる純然たる水田単作農業が行われており、極めて経営組織が経済的立場から眺めた場合その脆弱性を遺憾なく露呈している。しかも水田の大部分は泥炭地で僅かの降雨に際しても冠水に脅かされ、水稲の生産性は甚だ低位かつ不安定で農作等は全くない。

(ロ)山間部においては毎年冷害により平年作としても二石以内である。また畑地においては畑作、養畜、山林等個々の経営部処の運営は後進的で相互の有機的な結びつきに乏しいため、経営の成果はかえつて平坦部より劣つて居る。この地域には果樹が普及しつあつて相当の収益をあげているが、未だ本町の主要生産物の域に達していない。

(三)農業振興の阻害条件
本町の農業振興を制約する条件を大別して説明すれば次のとおりである。

謹賀新年

金木町民生委員協議会

委員長 山田勝太郎
委員 加藤由丈、角田幸一、中谷繁太郎、沢田又七、角田義治、佐藤定一、吉田若美、白川豊太、白川右衛門、前川与、白川与、中谷与、成谷与、伊藤千代、今藤賢治、工藤常四、黒川繁四、土岐無次、木下由次、須崎定一郎、太田長作、其田政勝、中原勤作、鈴木政勝、黒木政勝、桑田政勝、近藤政勝

金木町監査委員
白川源一
金木町固定資産評価審査委員会委員
原田正三郎
山田中礼一郎
今与八郎